

(別添2)

令和5年度国立研究開発法人国立長寿医療研究センター認知症サポート医養成研修募集要項

1 目的

認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医(推進医師)を養成することにより、各地域において、認知症の発症初期から状況に応じて、医療と介護が一体となった認知症の方への支援体制の構築を図ることを目的とする。

2 研修対象者

「認知症地域医療支援事業の実施について」(平成27年4月15日付老発0415第6号厚生労働省老健局長通知)の別添「認知症地域医療支援事業実施要綱」第1(4)のとおり。

3 研修日時

別紙のとおり

4 研修内容

別紙のとおり

5 研修受講費用(全課程を修了した場合)

50,000円(消費税込み)

なお、支払い方法については、研修の全課程の受講修了後、国立研究開発法人国立長寿医療研究センターが発行する請求書により、請求書に定める期限までに支払うこと。

6 修了証書の交付

修了証書は、全課程の修了者に対して交付する。

何らかの理由で全課程を修了できなかった受講者は不足分を受講した後に修了証書を交付する。

7 受講手続

(1)必要書類

受講申込書(別紙様式)

(2)手続

都道府県又は指定都市(以下「都道府県市」という。)は、都道府県市医師会と相談の上、研修対象者の選考を行った後、国立研究開発法人国立長寿医療研究センターに申込期限までに(1)の受講申込書を提出すること。

なお、郵送では期限に間に合わない場合は、FAX又はメールにより送信し、後日郵送すること。

個人が国立研究開発法人国立長寿医療研究センターへ直接申し込むのではなく、所属する都道府県市へ申込みを行うこと。

(3)申込期限(参加を希望するグループワーク日程により以下のとおり)

第5回グループワーク: 令和5年11月1日(水)必着

第6回グループワーク: 令和5年11月1日(水)必着

第7回グループワーク: 令和5年12月1日(金)必着

第8回グループワーク: 令和5年12月21日(木)必着

(4)受講者の決定

国立研究開発法人国立長寿医療研究センターは、都道府県市から推薦された研修対象者の受講が決定した場合は、速やかに都道府県市に通知するものとする。

この場合において、都道府県市は、受講の可否を申込者に伝達すること。

8 問い合わせ先

〒474-8511

愛知県大府市森岡町七丁目430番地

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

長寿医療研修センター 担当:大久保

TEL:0562-46-2311(内)2701

FAX:0562-45-5813

mail:ookubo-m@ncgg.go.jp

9 その他

応募者が定員を超えた場合には、都道府縣市と受講者の調整を行うものとする。

(別紙)

令和5年度 認知症サポート医養成研修 内容及び日程について

1 開催形式

eラーニングシステムとオンラインWEB会議システム(以下「Zoom」という。)を利用したオンライン形式で開催するものとする。

※第7回については、eラーニングシステムを利用したオンライン形式と集合研修の複合型で開催するものとする。

2 研修内容

講義編:「認知症サポート医の役割」、「診断・治療の知識」、「制度・連携の知識」、「学習理解度テスト」(eラーニングサイトにて各自で受講、テスト合格にて修了・グループワークへの参加が可能となる)

グループワーク:テーマに沿った意見交換(集合研修又はZoomによりライブで実施)

3 受講スケジュール

講義編(eラーニングシステム):受講決定通知後、指定する受講期間内で受講を修了すること。

なお、受講期間は原則としてグループワーク開催日の概ね2~3週間前から、グループワーク開催日の3日前までとし、各回の受講期間は受講決定通知時に併せて案内するものとする。

グループワーク:下記日時のとおり(受講申込書に希望する日時・時間帯を記入)

第5回	令和5年12月16日(土) ①9時30分~11時30分 ②13時~15時 ③16時~18時
第6回	令和5年12月17日(日) ①9時30分~11時30分 ②13時~15時 ③16時~18時
第7回	令和6年1月20日(土) 13時~16時30分 難波御堂筋ホール 7階 ホール7 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング
第8回	令和6年2月10日(土) ①9時30分~11時30分 ②13時~15時 ③16時~18時

※グループワークの定員は、1日当たり180名とする。(第5回~第6回及び第8回は原則、各時間帯60名×3回)